

## 白山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

昨日（10日）22時03分に山頂付近の深さ3km付近を震源とするマグニチュード（M）2.3（速報値）の地震が発生し、その後、本日（11日）05時頃にかけて振幅の小さな地震が増加しました。白山では、過去にも一時的な地震増加がみられており、今回の活動も、これらと同様の活動とみています。その他の観測データの変化はなく、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

昨日（10日）22時03分に山頂付近の深さ3km付近を震源とするマグニチュード（M）2.3（速報値）の地震が発生し、その後、本日（11日）05時頃にかけて振幅の小さな地震が増加しました。10日22時から11日08時までの回数は108回（速報値）で、11日05時以降は減少しています。また、低周波地震や火山性微動は観測されていません。白峰監視カメラ（白山山頂の西約12km）による観測では、特段の変化は認められません。

白山では、これまでも一時的な地震の増加が時折みられており、今回の活動も、これらと同様の活動とみています。なお、24時間の地震回数が100回を超えたのは、2014年12月16日（167回）以来です。このときの最大地震はマグニチュード（M）3.4でした。

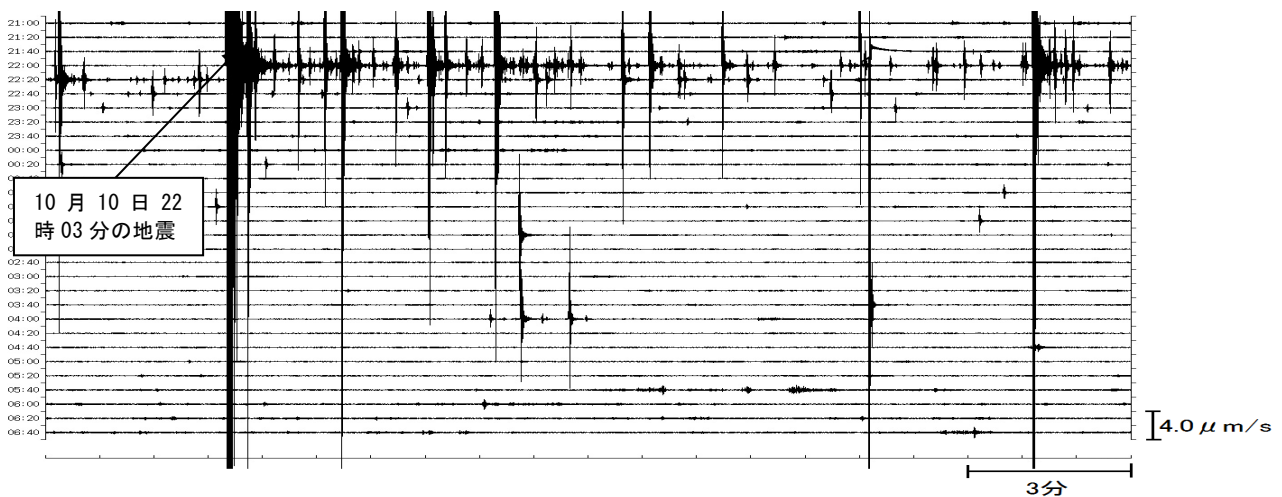


図1 白山 弥陀ヶ原観測点地震波形（上下動速度）（2017年10月10日21時～11日07時）

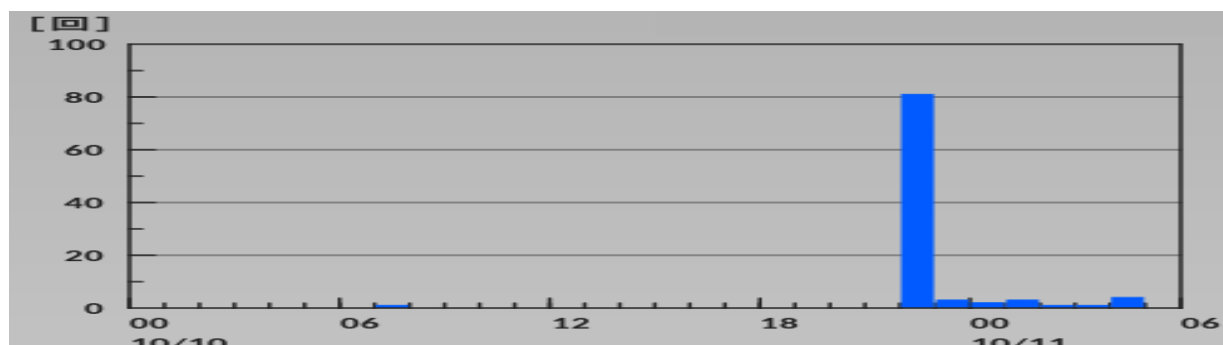


図2 白山 時別地震回数（2017年10月10日00時～2017年10月11日06時）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平26情使、第578号）。

【計数基準の変遷】

初期 2005 年 12 月 1 日～2011 年 9 月 30 日 弥陀ヶ原：振幅  $1.0\mu\text{m/s}$ 、S-P 時間 1.5 秒以内  
 変更① 2011 年 10 月 1 日～2014 年 9 月 18 日 中飯場：振幅  $1.0\mu\text{m/s}$ 、S-P 時間 1.7 秒以内  
 変更② 2014 年 9 月 18 日～ 弥陀ヶ原：振幅  $1.0\mu\text{m/s}$ 、S-P 時間 1.5 秒以内

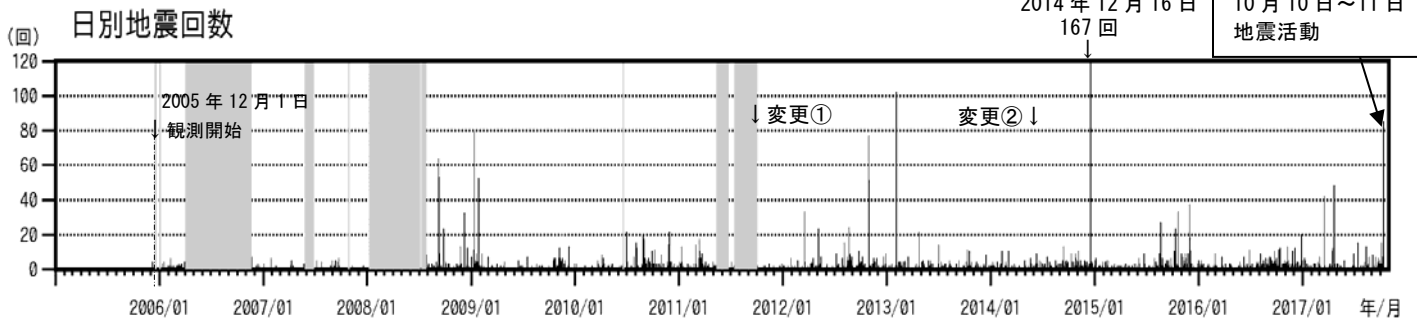


図3 白山 日別地震回数 (2005 年 12 月 1 日～2017 年 10 月 11 日)  
 ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測期間

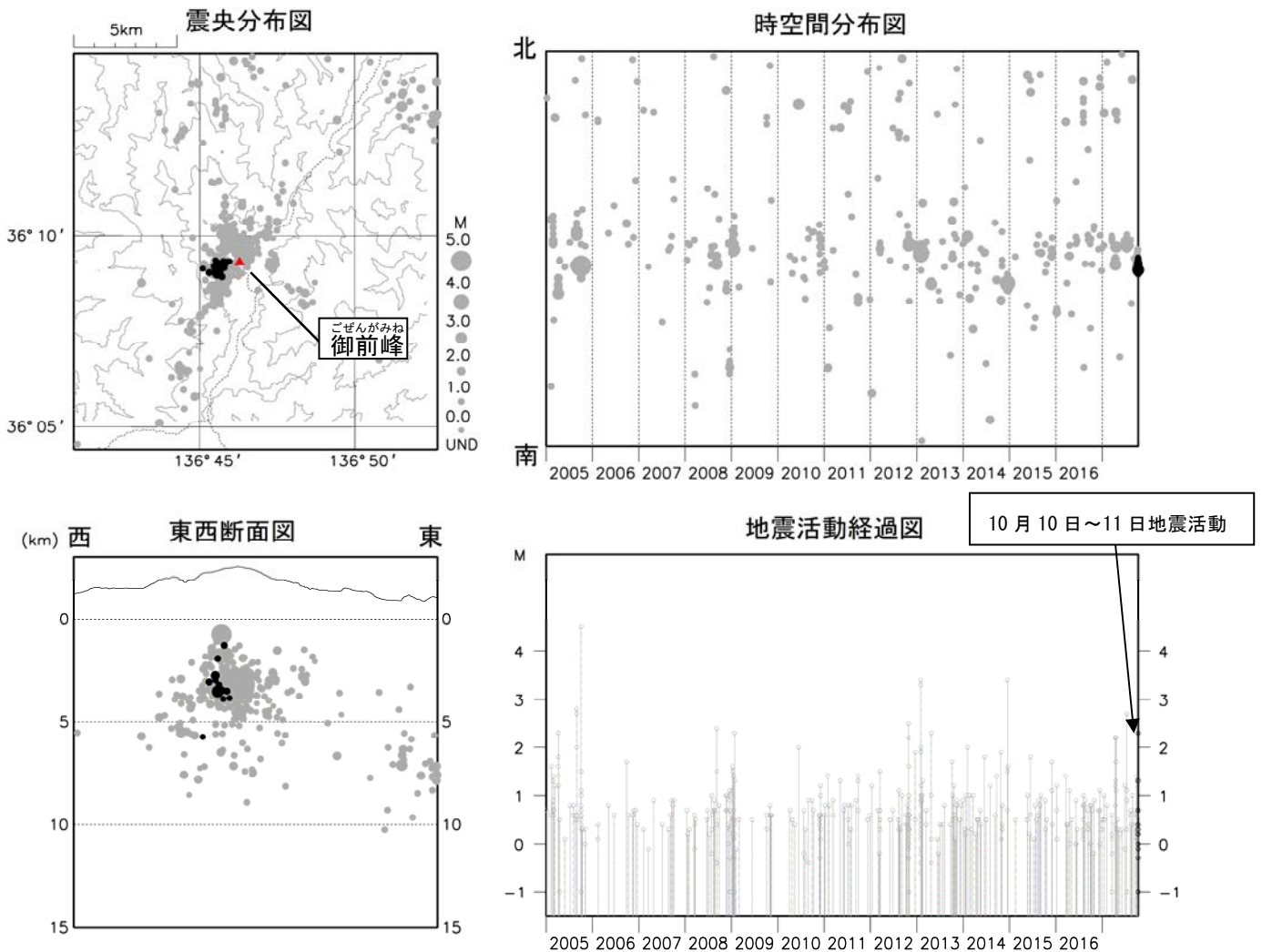


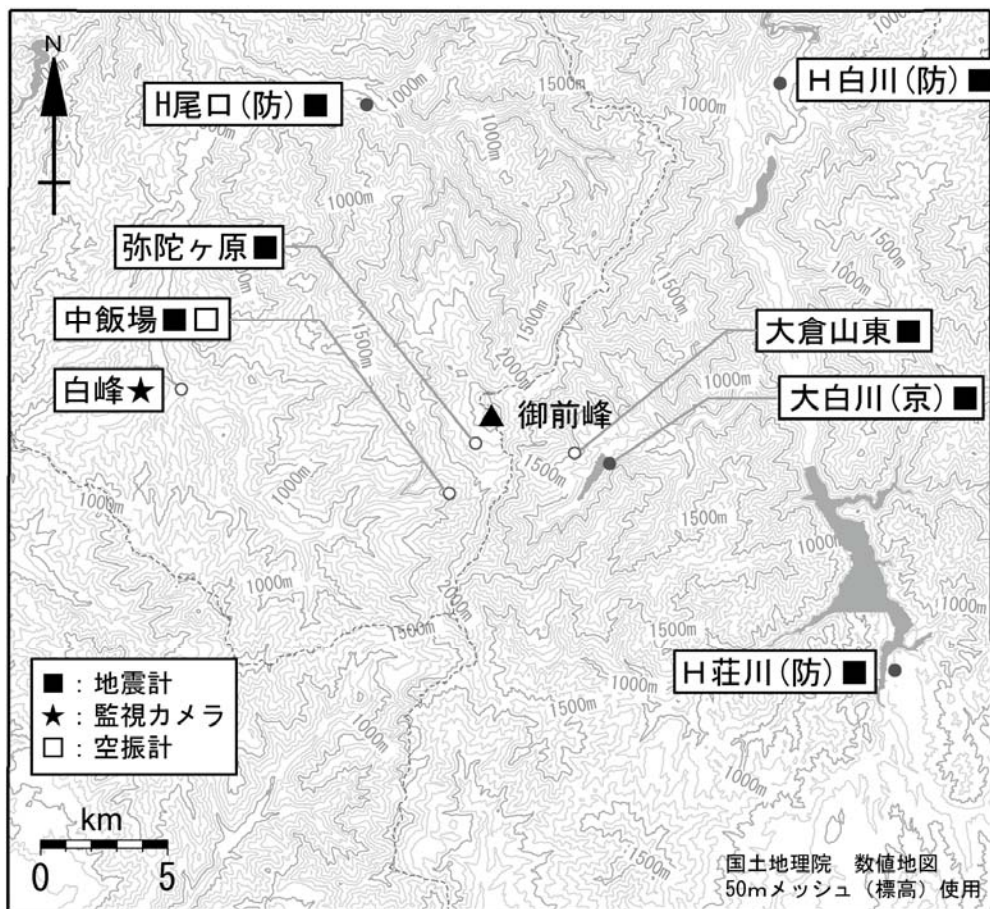
図4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動 (2005 年 1 月 1 日～2017 年 10 月 11 日)

● : 2005 年 1 月 1 日～2017 年 10 月 9 日    ● : 2017 年 10 月 10 日～10 月 11 日

- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素の一部は暫定値が含まれています。



図5 白山 山頂部の状況 (10月11日 白峰監視カメラによる)



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(防)：防災科学技術研究所、(京)：京都大学防災研究所

図6 白山 観測点配置図